

ZAi記者が
足で集めた
マネー情報ページ



ザイスポ

Diamond ZAi
New communication&
column
text by Ichiro Watanabe, Hiroko Ohya
photo by Toshio Fukumoto,
Yoshihisa Wada, Bloomberg

最低2億円のマンション、600万円の携帯電話、7万円の語学教材…

不況なのに高額消費!?

バブル期を
思わせる
高額商品が
続々登場!!

世の中は不況真っ只中というのに、高額商品が続々登場している。「不況の今は、富裕層しかモノを買ってくれません。実際富裕層向け商品はリーマンショック後も右肩上がりです」(高岡社一郎アブラハム・グループ・ホールディングス社長)という。そこで高額商品を買っているお店に行ってみた。まずは銀座にオープンした、最高600万円もする超高級携帯電話「ヴァーチュ」の販売店。専用ボタンを押すと航空券の手配などのコンシェルジュサービスが受けられ、個人情報には旧英国軍の掩蔽壕にあるサイバーに保存される。着メロがロンドン交響楽団の録り下ろしという機種もある。

次は関西唯一の高級住宅街芦屋にオープンした、1戸最低2億1000万円するマンション「ラ・クラシカ芦屋」。全12戸で最低182平米、窓からは大阪湾が一望でき、芦屋の花火が良く見えるという。家の中に入るまで3回ロックがあり、さらにシエルターマである。両方とも休日にも関わらず人はまだらだった。そんななか、定価7万円以上の語学教材「ロゼッタワールド」が外資系サラリーマンにバカ売れらしい。アマゾンの語学ソフトランキングでは1000円台のものに交じって3位というからすごい。マイクに向かって話さないと画面が前に進まない、発音とスピーキング能力が鍛えられるそうだ。「87・4%のお客様がカード一括払いで購入」(高本事業部長) するという。不況だからこそ、実用的なものが売れるということか。

※3月3日午前10時の時点

写真は「シグネチャーSデザイン」。600万円の機種は中央のキーがダイヤ製、本体正面はサファイアクリスタルで加工してある。イギリスの職人が1つ1つ手作業で組み立てる。バッテリーを外すと内側に職人のサインが。



高級携帯電話
¥6,000,000



時事通信社

売れるのは
どれだ!?

高額語学教材
¥74,800

ロゼッタワールドは英語だけでなく、フランス語からスワヒリ語まで31言語ある。文法や語彙は、現地の中学1年生クラスにとどめているそう。



芦屋のマンション
¥210,000,000



ラ・クラシカ芦屋の内装。モデルルームのリビングの家具はアルマーニ・カーサで統一、玄関は当然のように大理石。JR「芦屋」駅から徒歩5分。

